

2026年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名： 公共経営論特論		専修：地域専修
担当教員名： 遠藤 哲哉		科目区分：基幹科目
<p>授業科目概要：</p> <p>本授業では、公共経営の新しい理論的枠組みとして、「共鳴する地域社会の公共経営」を探究する。従来の公共経営論は、官僚制やニューパブリックマネジメント(NPM)を中心とした行政組織の効率化に焦点を当ててきた。しかし、地域社会の持続的発展を考える上では、市民、自治体、企業、教育機関など多様な主体が相互に関係しながら発展する有機体的地域社会として理解する視点が必要である。本授業では、サーバント・リーダーシップ、実践コミュニティ、社会資本、共感経営、プロセス哲学などの理論を踏まえながら、市民主体の公共善を実現する公共経営のあり方を検討する。また、地域実践から学習する方法として AAR(After Action Review) を取り上げ、学習する地域(Learning Region)の形成と地域イノベーションの創発について考察する。なお、現代社会は、AI やデジタルネットワーク社会へと構造変化を遂げつつあり、この社会構造の変動を踏まえて、議論を深めたい。</p>		
<p>履修上の留意事項：</p> <p>授業は、基本的にZoom等を活用したオンライン授業を予定します。(対面授業は調整の上) 参考文献には、英文文献を挙げているが、邦訳も用いながら検討していく。また、ケース等を取り上げ、公共経営を自律分散型システムにおける自らの問題として検討できるようにしていきます。本授業では、公共経営の理論的基盤として、以下の思想を参照する。</p> <p>サーバント・リーダーシップ(Greenleaf)、実践コミュニティ(Wenger)、学習する組織(Senge)とAI・デジタルネットワーク、有機体的世界観(Whitehead)、パターン・ランゲージ(Alexander)、日本哲学(西田幾多郎)、禅とキリスト教の思想(門脇佳吉)。</p> <p>これらの理論を統合し、AI、デジタルネットワーク時代において地域社会を共鳴する有機体的共同体として理解する公共経営の新しい枠組みを検討する。</p>		
教科書・参考書(参考文献)		
<p>書名 :二項動態経営:共通善に向かう集合知創造</p> <p>著者/編者: 野中郁次郎他</p> <p>出版社: 日経BP 日本経済新聞出版</p> <p>出版年: 2024</p>	<p>書名 :Servant Leadership: A Journey into the Nature of Legitimate Power and Greatness [Special Edition]</p> <p>著者/編者:Robert K. Greenleaf</p> <p>出版社 :Paulist Pr</p> <p>出版年 :2002</p>	
<p>書名 :共感が未来をつくる:ソーシャルイノベーションの実践知</p> <p>著者/編者:野中郁次郎他</p> <p>出版社:千倉書房</p> <p>出版年:2021年</p>	<p>書名 :Process and Reality</p> <p>著者/編者:Whitehead, Alfred North</p> <p>出版社 :Free Press</p> <p>出版年 :1978</p>	
<p>書名 :A Pattern Language</p> <p>著者/編者:Alexander, Christopher</p> <p>出版社 :Oxford University Press</p> <p>出版年 :1977</p>	<p>書名 :Communities of Practice</p> <p>著者/編者:Etienne Wenger</p> <p>出版社:Cambridge University Press</p> <p>出版年:1999</p>	
ディプロマ・ポリシー(DP)との関係		
DP1	DP2	DP3
○	○	○
<p>到達目標: 本授業を通じて学生は次の能力を身につける。</p> <p>公共経営の主要理論を理解する/地域社会を有機体的システムとして分析する能力を身につける/市民主体の公共経営のあり方を構想する能力を養う/AI・デジタル社会構造変動下における、地域社会の持続的発展に寄与する公共経営モデルを提案できる</p>		

<p>評価方法及び評価基準: 毎回の授業参加の程度、内容、また期末レポートを含めて総合的に評価する。</p>	
<p>授業の方法: 授業は次の方法で進める。 文献講読/ディスカッション/ケーススタディ/地域実践の振り返り(AAR)。 学生の主体的参加を重視する。</p>	
第1回	<p>テーマ:公共経営の課題とパラダイム転換 内容:官僚制、NPM、新しい公共の議論を整理し、地域社会の持続的発展を支える公共経営の課題を検討する。教科書/参考書 共感が未来をつくる(野中郁次郎他)</p>
第2回	<p>テーマ:公共善と市民主体の政治 内容:公共善の概念と民主主義の役割を考察し、市民主体による公共経営の可能性を検討する。教科書/参考書 二項動態経営(野中郁次郎他)</p>
第3回	<p>テーマ:サーバント・リーダーシップ 内容:Robert Greenleaf の思想をもとに、公共組織におけるリーダーシップのあり方を検討する。教科書/参考書 Servant Leadership (Robert K. Greenleaf)</p>
第4回	<p>テーマ:学習する組織 内容:Peter Senge の学習組織論を検討し、組織が持続的に学習する仕組みを理解する。教科書/参考書 学習する組織(P.Senge)</p>
第5回	<p>テーマ:実践コミュニティ 内容:Etienne Wenger の理論をもとに、知識創造とコミュニティの関係を考察する。教科書/参考書 Communities of Practice: Learning (Etienne Wenger)</p>
第6回	<p>テーマ:有機体哲学と社会理解 内容:Alfred North Whitehead のプロセス哲学を手掛かりに、社会を有機体的プロセスとして理解する。教科書/参考書 Process and Reality (Whitehead, Alfred North)</p>
第7回	<p>テーマ:パターン・ランゲージとコミュニティ形成 内容:Christopher Alexander の思想を通して、人間的な環境とコミュニティの設計について考察する。教科書/参考書 A Pattern Language (Alexander, Christopher)</p>
第8回	<p>テーマ:共鳴する社会 内容:Hartmut Rosa の共鳴理論を手掛かりに、人と社会の関係性を検討する。教科書/参考書 Resonance f (Rosa, Hartmut)</p>
第9回	<p>テーマ:日本哲学と関係性の思想 内容:西田幾多郎の哲学を通して、人間存在と世界の関係性について考察する。教科書/参考書 西田哲学と野中郁次郎の「場」の理論</p>
第10回	<p>テーマ:禅とキリスト教の対話 内容:門脇佳吉の思想を通して、身体知(身読)と人間理解について検討する。教科書/参考書 禅とキリスト教(門脇 佳吉)</p>
第11回	<p>テーマ:共感経営と美德の経済 内容:アダム・スミスの道徳哲学、近江商人の三方よし、野中郁次郎の美德の経営、稲盛和夫の経営思想などを参照し、地域社会における倫理的な地域経営の可能性を検討する。教科書/参考書 稲盛和夫の経営思想</p>
第12回	<p>テーマ:学習する地域 内容:地域社会が経験から学び、持続的に発展するプロセスを考察する。教科書/参考書 自治体経営と地域イノベーション(遠藤哲哉・小野寺哲夫)</p>
第13回	<p>テーマ:AARと地域イノベーション 内容:After Action Review を通して、地域実践から学ぶ方法を検討する。教科書/参考書 自治体経営と地域イノベーション(遠藤哲哉・小野寺哲夫)</p>
第14回	<p>テーマ:共鳴する地域社会のモデル 内容:市民、自治体、企業、教育機関の役割を整理し、共鳴する地域社会の構造を検討する。教科書/参考書 「地域経営」における価値創造(遠藤哲哉)</p>
第15回	<p>テーマ:公共経営の未来 内容:共鳴・共感・共創を基盤とした公共経営の新しい可能性を総括する。教科書/参考書 まとめ(報告)</p>